

平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名	だれもがいいきき幸せに暮らせるまち	施策番号・名	14	高齢者福祉の推進	基本事業番号・名	14-01	就労の支援
-----	-------------------	--------	----	----------	----------	-------	-------

事務事業 番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の 数値指標化)		事務事業全体					一般財源分				全庁評価会議 (24年度に向けた 方向性等)			
	指標			実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	① (千円)	② (千円)	①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	特定財源に伴う一般財源		一般財源							
													事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等						
14-01-01	福祉総務課 高齢者福祉係	根拠 法令 等	☐ 自主的 ☐ 義務的 ☒ 努力義務的 (国) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律 (都) 平成22年度東京都シルバー人材センター事業補助金交付要綱 (市) 平成22年度東久留米市シルバー人材センター補助金交付要綱	対象 高齢者に臨時的かつ短期的な就業機会を提供する団体として、東久留米市シルバー人材センターを支援する。	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性：			縮小	平成22年度	説明欄：市からの補助対象は、人件費と事業運営費であるが、東京都シルバー人材センター補助対象もこれとパラレルであり、その事務事業評価でも、人件費は削減方向とし、事業費の補助に移行するとされており、市の補助金のあり方との整合性を取りつつ、団体の自立性を高める必要がある。	平成22年度	24年度以降に向けた方向性：			説明欄：行財政改革アクションプラン（補助金等の適正化）→事業内容、決算等の検証
	1,438				6,919	4.8	32,878	1,460	34,338	必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3	21,843	平成21年度	必要性 有効性 達成度 効率性									
	(人)				(件)	(%)	実施した事業件数	6,512	(件)	(%)				4.6	50,875	1,487		52,362				
	平成21年度				平成21年度	平成21年度													平成21年度			
	シルバー人材センター事業	財源	☒ 全額補助 ☒ 一部補助有 ☐ 市全額	手段・内容 ・高齢者も就業に関する情報の収集・提供、調査研究、相談事業に対する補助。 ・就業機会の開拓・提供や、技能・知識の付与を目的とした講習会等の実施に関する補助。 ・センター職員人件費、管理運営費の一部の補助。	1,409	6,512	4.6	50,875	1,487	52,362	説明欄：シルバー人材センターについては、平成22年度に実施された事業仕分けにより、団体の市からの自立的運営と、それに従う市補助金の人件費対象分の削減が示されている。従って、必要性や有効性については団体の自助努力が必要とされ、人件費の補助対象部分を削減し、事業の達成度と効率性を団体に委ねよう努めることが求められる。	35,561	平成21年度	説明欄：	平成21年度							
			☐ 市独自上乗せ(上乗・横出)		(人)	(件)	(%)	平成20年度	平成20年度	平成20年度						平成20年度	平成20年度	平成20年度				
		事業 形態	☐ 直営(委託無) ☐ 全部委託	意図 一般雇用になじまないが、働く意欲のある健康な高齢者について、その知識・経験・規模等に沿った就業機会を確保する。	1,350	5,600	4.1	41,932	1,483	43,415						平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度			
			☐ 一部委託 ☒ 補助・助成金		(人)	(件)	(%)	30,920	平成20年度	平成20年度						平成20年度						
			☐ その他()		(人)	(件)	(%)															
			☐ その他()		(人)	(件)	(%)															